

## 松山市 南高井地区

～農事組合法人を核とした都市的集落の活性化～

### ●活動内容

#### ①取り組み概要

- 松山市の南高井地区は、都市化が進み、農業者の高齢化等により、将来、耕作放棄地の発生が懸念され、平成20年から集落の生産者と県・市・JAが連携し、集落営農組織での活動を検討し、平成21年に組合員23人で「農事組合法人ていれぎの郷」を設立した。（現在、組合員27人）
- 通年借地、期間借地で、農地の集積（23年：通年借地5.0ha、期間借地1.5ha、作業受託5.0ha）を図り、集積農地のマップを作成し、農地状況や作業効率を検討しながら導入作物を検討した。（23年：水稲4.6ha、黒大豆2.3ha、シンテッポウユリ25a、裸麦9.2ha、白ねぎ17a）
- 補助事業を活用し、コンバインや乾燥機、色彩選別機等を導入し、省力化・効率化を図り、高品質・低コスト栽培に取り組む。
- 規格外農産物の活用をきっかけに女性10人が女性部を立ち上げ、月1回の朝市を開催し、法人が生産する農産物の活用やPR、消費者交流に取り組む。



設立総会



農地集積活動

#### ②成功のポイント

- 月に1回定例会を開催し、組合員間及び関係機関（県、市、JA）との連携強化
- 新規品目の導入
- 女性部の設立
- 新規組合員の加入



裸麦の収穫作業

### ●生産者等情報

農事組合法人 ていれぎの郷

代表理事 井門裕昭

### ●ホームページリンク

ホームページなし



女性部による直売所